

Ⅰ．授業時数特例校制度導入の考え

（１）実施の目的

- ・本校の課題である「読解力」の育成
- ・自ら課題を見つけ主体的に学びに取り組むことができる生徒の育成
- ・学級集団への所属間や自己有用感を醸成するためのピア・サポートを基盤とした教育活動の充実

（２）解決を図る学校課題

- ・現状８～９％の不登校生徒について、５％を目標とする。
- ・「自分には良いところがある」の肯定的回答について８５％以上を目指す。
- ・「学校が楽しい」の肯定的回答について８５％以上を目指す。

（３）保護者・地域住民への周知

- ・学校だより、保護者会、参観日等で積極的な周知を諮る。
- ・各種アンケートの結果をもとに、取組の検証結果を学校だより等で周知する。

2. 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
各教科の授業時数	国語	140	140	105
		145(+5)	145(+5)	117(+12)
	社会	105	105	140
				135(-5)
	数学	140	105	140
		147(+7)	117(+12)	150(+10)
	理科	105	140	140
			135(-5)	135(-5)
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
		98(-7)	98(-7)	98(-7)
	技術・家庭	70	70	35
	外国語	140	140	140
		135(-5)	135(-5)	135(-5)
特別な教科である道徳の授業時数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
特別活動の授業時数		35	35	35
合計		1015	1015	1015
学校行事		28	38	32
生徒会活動		14	14	14

第 1 学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 5 0 時間] 余剰時数 [3 5 時間]

第 2 学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 4 8 時間] 余剰時数 [3 3 時間]

第 3 学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 2 7 時間] 余剰時数 [1 2 時間]